

高等学校改革の推進に関する要望書

日頃から、飯田下伊那地域の教育振興に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、ご承知のように平成 17 年 3 月に県高校改革プラン検討委員会から最終報告書が出されて以来、当地域ではこの課題に真摯に取り組み、苦渋の決断をして参りました。

統合新校においては、統合案・実施計画によって、子ども達の能力の発露と伸張に貢献することは勿論、21 世紀型科学技術教育の拠点に相応しい教育環境を有し、更に地域のものづくりの拠点として相応しい施設・設備が整備されることを強く希望します。

また、校地を拡張し校舎建設をされる決断に感謝申しあげておりますが、敷地内の全般を見通した時、来校者や職員などの駐車場スペースが手狭であることなどから、両校同窓会を中心として圏域内では更なる敷地の確保に対して強い要望があります。

つきましては、これまでの当地域の真摯な議論と関係者の思いを重く受け止めていただき、下記事項について更なる努力と誠意を持って取り組まれることを強く要望いたします。

記

- 1 更なる校地の拡張に取り組まれない。

平成 22 年 11 月 15 日

長野県知事 阿 部 守 一 様

南信州広域連合
広域連合長 牧 野 光 朗

南信州広域連合議会
議 長 中 島 武津雄